

Part 1 基本情報

1. パラオプロフィール

- | | |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 正式名称 | (和文) パラオ共和国
(英文) Republic of Palau |
| (2) 政体 | 共和制 |
| (3) 首都 | マルキョク |
| (4) 面積 | 488平方km |
| (5) 人口 | 1万9907人(2005年) |
| (6) 民族 | ミクロネシア系(カナカ人/マレー系、カナカ人と日本、米国、ドイツとの混血など) |
| (7) 言語 | 公用語 : パラオ語、英語 |
| (8) 宗教 | キリスト教(カトリックなど)、伝統的宗教 |
| (9) 略史 | 16世紀スペイン人が到達。1899年スペインがパラオを含むミクロネシアの島々をドイツに売却。1914年日本が占領。1920年日本の委任統治領となる。1947年国連の信託統治領としてアメリカの統治下に入る。1978年ミクロネシア連邦より脱退。1981年自治政府発足。1993年アメリカとの自由連合盟約案が住民投票により承認され、1994年独立。 |
| (10) 在留日本人 | 310人(2009年7月) |
| (11) 気候 | 熱帯海洋性気候。年間平均気温は摂氏28度で、一年を通じてほぼ一定である。 |

[参考]

「外務省ホームページ-各国・地域情勢」、外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(パラオ支所)

住所 : 2nd Floor George Ngirarsaol Commercial Building, Koror, Palau, 96940

連絡先 : 国番号 : 680

市外局番 : 488

電話 : +680-488-5373/5370

FAX : +680-488-3656

URL : <http://www.jica.go.jp/palau/index.html>

執務時間 : 8:30 ~ 17:00(昼休み11:30 ~ 13:00)

休日 :	1月 1日	年始休日 *
	1月11日	成人の日 *
	2月11日	建国記念日 *
	3月15日	Youth Day
	3月22日	春分の日 *
	4月29日	昭和の日 *
	5月 5日	Senior Citizen's Day
	6月 1日	President's Day (Celebrated on June 1)

7月 9日	Constitution Day
7月19日	海の日*
9月 6日	Labour Day
10月 1日	Independence Day
10月25日	United Nations' Day (Celebrated on October 24)
11月25日	Thanksgiving Day
12月24日	Christmas Day (Celebrated on December 25)
12月29日～31日	年末休日*
(2010年)	*は日本の祝日

事務所までの交通：

【空港から】

空港からの公共交通手段(バス、タクシー)はないので、ホテル予約の際に空港出迎えを申し込む。

空港への交通手段はホテルの送迎用バスの利用が最も安全で正確である。

【空港以外から】

短期滞在中の交通機関は、タクシーまたはレンタカーのいずれかとなるが、タクシーは個人で営業しているので、ホテルやレストランで呼んでもらうのが安全。ただし料金メーターがついていないので、運転手に確認することが必要。また、午後10時以降営業していない。レンタカーは空港出口にカウンターがあり、手続きもできる。また、ホテルでも申し込める(滞在期間が1カ月以内であれば日本の免許証が通用する)。料金の目安は、セダンタイプで50米ドル/日。

(2) JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差 日本との時差：なし。
サマータイム サマータイム：実施していない。

- (4) 祝日、
官公庁の祝日： 3月15日 Youth Day (Celebrated on March 15)

5月 5日	Senior Citizen's Day
6月 1日	President's Day (Celebrated on June 1)
7月 9日	Constitution Day
9月 6日	Labour Day
10月 1日	Independence Day
10月25日	United Nations' Day
11月25日	Thanksgiving Day
12月24日	Christmas Day
(2010年)	

官公庁の休日：上記祝日と土曜日、日曜日。

- (5) ビジネスアワー 官庁：7:30 ~ 16:30(土日休み)
 銀行：8:30 ~ 15:00(金曜日のみ17:00終業、土日休み)
 商店：8:30 ~ 22:00(日曜日もほとんどの店が営業)
- (6) 言語 業務：英語
 ホテル、買い物、食事：英語。一部の商店やレストランなどでは、日本語、タガログ語が使われることもある。
- (7) 通貨 通貨：米ドル
- (8) 通貨レート 最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。
<http://www.bloomberg.co.jp/markets/currencies/fxc.html>
 (「ブルームバーグ 主要クロスレート」)
- (9) 関係機関 【在外日本関係機関】
 ・日本大使館
 住所：P.O. Box 6050, Koror, Palau 96940
 電話：488-6455
 ・日本人会
 電話：488-2600
 【パラオの関係官公庁】
 ・国務省外務局
 電話：767-2509
 FAX：767-2443
 ・出入国管理局
 電話：488-2498
 FAX：488-4385
- (10) 有用サイト <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA駐在員事務所のあるコロールの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



Yellow Page

1-1 ホテル

コロール市内を中心にホテルが十数軒ある。コロールの主なホテルは次のとおりである（詳細はPart 3イエローページを参照）。

- ・VIP Guest Hotel
- ・West Plaza Hotels
- ・Cliffside Hotel
- ・Palasia Hotel Palau
- ・Palau Pacific Resort
- ・Palau Royal Resort



VIP Guest Hotel

1-2 住宅事情

パラオに駐在している日本人の大部分はアパートに住んでいる。条件のよい一軒家の空きはあまりない。現在、日本人の居住している家屋の平均的な家賃は、一軒家、長期滞在型ホテル、アパートともに月額1000～1200米ドル前後である。以前に比べれば住宅事情もかなり改善されたが、好みの住宅を探すのは大変難しい。



Palau Pacific Resort

1-3 住宅の探し方

日本のように貸家を取り扱っている不動産会社はほとんどないため、知り合いなどを通じて探すしかない。

1-4 住宅選定上の留意点

住宅のある地域の治安、衛生、上水道の便などについて、パラオの事情を詳しく知っている人から詳しく説明を受けることを勧める。

1-5 住宅の契約

契約期間は、1年または2年であるが、実際は1年契約で更新することが多い。家賃は1か月ごとに支払う。1か月分に相当する家賃を敷金（デポジット）として前払いするのが、最終月に精算するのが一般的であるが、個人的な契約が多いので、契約内容はまちまちである。口約束のみで取り決めることは避け、必ず契約

書を交わし、内容を吟味することも忘れないこと。特に解約の条件について確認しておくことが必要。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気や水道は家主が手配してくれる。電気、水道代は家賃に含まれている場合と、家賃とは別に毎月個人に請求がくる場合の、2通りがある。パラオでは一般的に電気が普及しており、ガスは食堂等でプロパンガスが使用されているのみで、一般家庭での使用はない。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧と周波数は110～120V、60Hzが基準である。日本の家電製品を使用することもできるが、製品によっては変圧器が必要な場合もある。

(2) コンセント、モジュラージャックの形

住居につけられているコンセントは3つ穴だが、ひとつはアース用なので、日本と同様のプラグで十分に使える。モジュラージャックは日本と同じタイプとオーストラリアタイプの両方がある。



パラオで一般的なコンセント

プラグ二種類

(3) 家電製品

家電製品などは現地で購入できる。

1-8 家具保険

家具などについては、一般的に備え付けの住居が多いので、特に保険をかける必要はない。

1-9 その他

一般的にパラオの一軒家の住居は垣根や門などを構えていないので、安全やプライバシー保護のためにも、ドアや窓などは開放したままにしないように心がけたい。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

年間を通じて日中は半袖のシャツにズボンといった軽装で過ごすことができるが、朝夕は多少冷え込むことがある。また、レストランなどでは冷房が強すぎるこ

とが多いので注意されたい。衣類はスーパーマーケットや専門店などで入手できるが、日本製品はほとんど見られない。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

就寝用タオルケットなど。下着類は現地で入手できるが、着慣れたタイプのものがよいのならば、日本から持参することを勧める。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

アロハシャツやTシャツなどは、現地でも必要に応じて調達しやすいので、わざわざ日本から用意する必要はない。

(4) その他の留意点

日中の日差しが強いので、薄手の長袖シャツやズボンがあれば便利である。また、靴や靴下などは履き慣れたものを持参したほうがよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

パラオでは、格式の高いフォーマルなパーティーはまずない。招待をよく受けるのは、家を建てた時に行われるハウスパーティーで、服装は普段着でよい。

(2) 式典

背広を着用する必要はない。男性の場合は長ズボンにアロハシャツ、女性の場合は長い丈のドレスのいわゆるアイランドフォーマルが一般的である。

(3) 冠婚葬祭

背広を着用する必要はない。式典の場合と同様にすればよい。

(4) その他の留意点

パラオ滞在中は背広を着用する機会はほとんどないが、1着ぐらいい持参したほうがよい。パラオでは、政府関係者に表敬訪問する時などにも、ワイシャツにネクタイで通用する。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

洗濯機、乾燥機が備えられている貸家もあるが、ない場合はコインランドリーを使用することになる。コインランドリーは島内のいたるところにある。

(2) 仕立て、修繕

背広を仕立てる店はないが、アロハシャツやワンピースの仕立て、ズボンの裾上げなどをしてもらえる店はある。

(3) 保管

高湿度のためカビが発生しやすい。防虫剤は購入できるが、除湿剤はない。

2-4 美容院、理髪店

十数軒の美容院がある。美容師の大半がフィリピン人で、男性のカットも美容

院でやってくれる。料金は5～10米ドルである。日本製の美容・理髪用品などは売っていないので、使い慣れているものがあるのならば、日本からまとめて持参することを勧める。

1-1「ホテル」で既述したPalau Pacific ResortやPalasia Hotel Palauに併設されている美容院や理容院を利用するとよい。予約が必要。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

ホテルでの場合を除いて、基本的にチップを渡す習慣はない。

(2) 各種サービスに対するチップ

ホテルで荷物を運搬する時などには、荷物の数量などに合わせてチップを渡すのが望ましい。レストランなどでの飲食の場合は、特に必要ない。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

パラオには日本料理、イタリア料理、韓国料理、タイ料理、中国料理、フィリピン料理等の各レストランがある。昼はランチメニューなどがある。インターネットが利用できるカフェなども開店している。

(2) 飲食店

パラオには経営者やコックが日本人のレストランが10軒ほどあり、日本食はもちろん現地の食材を使った料理が味わえる。フィリピン、イタリア、韓国、中国系のレストランもある。ホテル内のレストランも利用できる。いずれの店でも特に予約の必要はないが、人数が多い時は予約を勧める。

コロール市内の主なレストランは次のとおり(詳細はイエローページを参照)。

< マダライ地区 >

[日本料理・海鮮料理]



・レストラン・フジ

[日本料理・寿司]

・美登寿司

[韓国料理]

・アランレストラン

[タイ料理]

・スリヨタイ

< ティードック地区 >

[日本料理・アジア料理]

・レッドルースターカフェ



フジレストラン



タイ料理レストラン スリヨタイ パラオ 7

<ニアケソアル地区>

[パラオ料理・沖縄料理・ステーキ]

・ドラゴン亭



<マラカル地区>

[パラオ料理・日本料理]

・カープレストラン

4-2 食料

(1) 一般事情

食料品は、主にスーパーマーケットや小売店で入手できる。大半の食料品はアメリカ、オーストラリア、韓国、日本からの輸入品である。また、パラオ国内で収穫された野菜類が、小売店に出回っている。スーパーマーケットでは日本製食品の品揃えが豊かであり、食生活に不自由はほとんど感じられない。ただし、賞味期限が過ぎたものが店頭に並んでいることもあるので、注意が必要である。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

カリフォルニア米が安価で入手できる。時折タイ産の米も出回っている。

<パン>

パン工場が4軒あり、食パン、調理パンなどがスーパーマーケットなどで買える。

<肉類>

牛、豚、鶏、ターキーなど、すべて冷凍であるが入手は容易。

<野菜>

ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ニンニク、セロリ、ショウガ、キャベツなどはスーパーマーケットや小売店に比較的安定して供給されているが、その他の野菜類の入荷状況にはかなりむらがある。

<果物>

パパイヤ、ヤシ、バナナ、かんきつ類などは、比較的常時買うことができる。こまめに店頭をのぞけば、珍しい果物が見つかることもある。

<魚類>

小規模なフィッシュマーケットが4軒ほどあり、近海、特にリーフ内で捕獲された魚が買える。カツオ・マグロの仲間、ブダイ、ベラやシイラなどをよく見かける。また、カニや二枚貝も時折販売されている。

<調味料>

しょうゆ、みそ、酢、みりん、ポン酢、わさび、からしなど、日本の調味料もスーパーマーケットで入手できる。スパイス類は豊富である。

< 食用油 >

ゴマ油、オリーブ油、サラダ油、バター、マーガリンなどが入手可能。

< 粉類 >

小麦粉、てんぷら粉、白玉粉、パン粉などが入手できる。小麦粉は無漂白のものや全粒粉もあるが、強力粉、薄力粉の区別はない。

< 飲料水 >

水道水は生のまま飲むことは避けたほうがよい。多くの家庭で天水を利用しているが、ミネラルウォーターも普通に買えるので安心である。

< インスタント食品 >

日本製や韓国製のカップラーメンやレトルト食品、冷凍食品、電子レンジ用の食品も販売されている。

< めん類 >

パスタ類、ラーメン、うどん、そば、きしめん、春雨、ビーフンなどが入手可能。

< 乳製品 >

チーズ、バター、マーガリン、ヨーグルトなどが入手できる。牛乳はすべて長期保存が可能な加工が施されたものである。

< 酒 >

ビール、日本酒、焼酎(パラオでは「タカラ」という商品名で販売されている)、ウイスキー、ウオツカ、ラム、ジン、ワインなどが入手可能。

(3) 食料の入手

梅干、納豆、豆腐、漬物などの日本食品は、パラオで一番大きなショッピングセンターであるW.C.T.C. Shopping Centerなどで販売されている。乳幼児用の食もある。配達などのサービスは行われていない。

Yellow Page



スーパーマーケット店内



WCTC Shopping Center

4-3 食器、調理器具**(1) 食器、調理器具などの入手**

調理器具や電気調理器具、洋食器類などは、W.C.T.C. Shopping Center内(電気製品、台所用品売り場は2階)でほとんど入手できる。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

純和食器(茶碗、椀、どんぶり、茶器など)。寿司桶を持参すると、人が集まった時などに重宝する。

5. 生活用品の購入



Yellow Page

5-1 家電製品

家電製品は日本から持参したものを使用できるが、製品によっては変圧器が必要。なお、家電製品はACE Hardware(詳細はPart 3イエローページを参照)などで購入可能である。

5-2 家具

W.C.T.C. Shopping Centerでほとんどの家財道具を購入することができる。ただし、種類は豊富ではない。

5-3 日用品、雑貨

W.C.T.C. Shopping Centerでほとんど揃えることができる。

5-4 工具、素材

工具、材料などは、ACE Hardwareでほとんどのものが購入できる。ただし、大工道具などは日本とは使い勝手が違って、押しのかぎり、押し鉋である。

6. 金融機関



Yellow Page

6-1 金融機関

(1) 銀行

パラオではいくつかの銀行が営業しているが、在住の日本人がよく利用しているのは、Bank of HawaiiとBank of Guam(詳細はPart 3イエローページを参照)である。口座開設には、「通帳引き出し」か「カード引き出し」の選択が必要である。2006年にパラオ資本の銀行が倒産して多くの預金が失われ社会問題となった。

(2) 口座の開設と解約

パラオの通貨は米ドルで、口座には米ドル貯蓄口座と小切手口座がある。口座開設には指定の申請書と開設時の一時金が必要である。口座解約手続きは、銀行に行ってその旨を伝え、預金残額を引き出せば終了する。

(3) 小切手、デビットカード

パラオの人々が日常生活の買い物で小切手を使うのを目にするのは少ないが、公共料金などの支払いにはよく使われている。自分の口座で小切手を使用する場合は小切手口座の開設と別途小切手帳の購入が必要である。また、小切手口座を開設すればATM/デビットカードを作ることできる。

(4) 換金方法

パラオでは、日本円からの換金率が低い。したがって、あらかじめ日本で米ドルのトラベラーズチェックや米ドルの現金を用意しておくといよい。現地では銀行と一部ホテルで換金できる。

6-2 クレジットカード

VISA、JCB、MasterCardが一部のホテルやショッピングセンターで利用できる。ただし、手数料を請求される場合もある。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

島内での移動はタクシー、レンタカーまたは自家用車に限られる。タクシーはメーターがなく、行き先によって料金が決まっているので、乗る前に交渉することが望ましい。タクシーは流していないので、ホテルのフロントから電話で呼ぶことが確実。また、タクシーは午後10時以降営業をしないので注意が必要。

コロール市内であれば3～5米ドル、市内から空港までは20米ドルが目安である。ペリリュー、アンガウル、カヤンゲルなどの離島へは定期船が出ているがスケジュールどおり運行されない場合があるので注意が必要。

(2) 空港から市内への移動

空港からはバス、タクシーなどの公共交通手段はないので、ホテルを予約する際に空港への出迎えを依頼する必要がある。市内から空港までの交通手段は、ホテルの送迎用バスか、タクシーを利用することになる。タクシー料金は20米ドルが目安で(料金メーターがないので、運転手と交渉)、所要時間は約20分。

(3) 自家用車を利用する場合

自動車は、中古、新車ともに購入できる。ほとんどが日本車で、価格は中古車で4000～5000米ドルからある。任意の自動車保険にも加入できる。整備不良車が数多く走っているため、走行の際には車間距離を十分にとるなどの注意が必要である。

(4) レンタカーなどを利用する場合

コロール周辺に数軒のレンタカーショップがあり、利用できる。空港内にも各社のブースがある。主なレンタカー会社は以下のとおり。車を借りる時には、コンディション(ライト、ブレーキ、車体のキズなど)をチェックする必要がある。ドライバー付きの場合は料金とシステムの確認をする。

Yellow Page ・トヨタレンタカー

・バジェットレンタカー

・キングスレンタカー

(5) 地図

正式な道路地図は市販されていない。パラオは狭い島なので、自動車で移動できる範囲はごく限られており、道もすぐに覚えてしまう。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

警察へ届け出るのと同時に、負傷者がある場合は救急車を呼ぶなどの適切な処置をすること。

・警察 電話：911(パトロール課 電話：488-1422)

・消防/救急：911 電話：488-1411

(2) 救急病院

急患はペラウ国立病院のみで取り扱う。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車内に置いてある荷物の盗難が多発している。車から離れる時は荷物等をトランクに移し、車のドアロックを確認すること。酔っぱらいなどによる投石の被害もあるので、注意が必要である。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車両は右側通行である。信号機はない。コロール州内の全地域が追い越し禁止。スピード制限、一方通行、一時停止等の道路標識がある。

免許証については、30日以内の滞在であれば有効な日本の免許証を所持していればパラオ国内で運転でき、国際免許証は不要である。

(2) 罰金、罰則

違反が摘発された場合は、警察に違反金を支払うなどの罰則を受ける。たとえば、定員オーバーの違反の場合は、オーバー分の人がある場で降ろされ、罰金を25米ドル徴収される。

7-4 車の修理

(1) 部品

修理工場に部品のストックがないこともたまにあり、国外から取り寄せる場合は時間と費用がかかる。

(2) 修理工場

パラオには16軒ほどの自動車修理工場があり、そのなかの2軒は、小規模ではあるが日本人が修理にあたっている。

8. 通信



Yellow Page

8-1 電話

(1) 一般事情

各家庭や事業所への電話の普及率は高い。公衆電話も空港やショッピングセンターなどに設置されている。国内通話料は月額定額なので、レストランなどで借りることもできる。Palau National Communications Corporation (PNCC

ノパラオ電話局、詳細はPart 3 イエローページを参照)には6台の国際電話用ボックスがある。各家庭への新設も可能である。

(2) 国内電話

加入にはPNCCに回線の新設を申し込む。その際に国内利用か国際利用を兼ねるかを明示する。国内電話の基本料金(ダイヤル直通)は、1カ月12.1米ドル。

(3) 国際電話

国際電話は、PNCCでプリペイドカード(10米ドル、25米ドルがある)を購入して利用できる。PNCCの交換台を通して利用することもできるが、コレクトコール扱いになる。PNCCに国際電話の利用登録をすれば、自宅からダイヤル直通でかけられる。

(4) 携帯電話

Yellow Page パラオの代表的な携帯電話会社はPNCC Wirelessで、使用されている携帯電話機はNOKIA、MOTOROLAのほか多機種。支払いは契約式とプリペイドカード式の2通りある。日本の携帯電話のローミング使用はできるが、PNCCのSIMカードを日本の携帯電話にさして使うことはできない。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

PNCCで利用できる。料金は送信にかかる時間によって決まり、日本までは3分以内(A4判用紙で4枚程度)で12米ドルである。23:00以降は半額(6米ドル)になる。家庭でも電話回線を引けばファクシミリを使うことができる。ただし、海外への送信には国際電話の利用登録が必要(上記の8-1(2)(3)を参照)。

(2) インターネット

Yellow Page 利用可能。プロバイダーは、PNCCがある。パソコンを持っていない場合は、インターネットカフェで1時間約6米ドルで利用できる。

8-3 郵便

(1) 一般事情

Yellow Page コロール市内にPalau Post Officeが1軒ある。配達制度はない。

日本からの郵便物が届くのに通常10日前後かかり、観光シーズンやクリスマスの時期には、郵便事情が悪く所要日数もかかる。日本までの料金ははがき75米セント、封書80米セント(14gまで、28g増すごとに40米セントが加算される)。

(2) 課税

郵便小包などの受け取り時に課税されることがある。

(3) 国際宅配サービス

Yellow Page DHLおよびFederal Expressが利用できる。

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

日本からパソコンを持ち込むことはできるが、モデムはグローバルモデム(海外対応モデム)が必要である。これらは現地でも購入できるが、日本語ソフトは入手できない。

(2) 使用の際の注意

電圧が不安定なので、変圧器やスタビライザーなどがあれば安心である。

(3) 修理

パソコン本体や周辺機器の修理はできない。日本からのパソコンは、日本に送って修理するしかない。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

就業時間は7:30から16:30、昼休みは11:30から12:30である。

(2) 有給休暇

公務員には有給休暇制度(年次休暇と病気休暇)があり、どちらも時間単位で取得する。年次休暇は勤続年数により異なるが、病気休暇は勤続年数にかかわらず2週間の勤務に対し4時間が適用される。

(3) 執務室

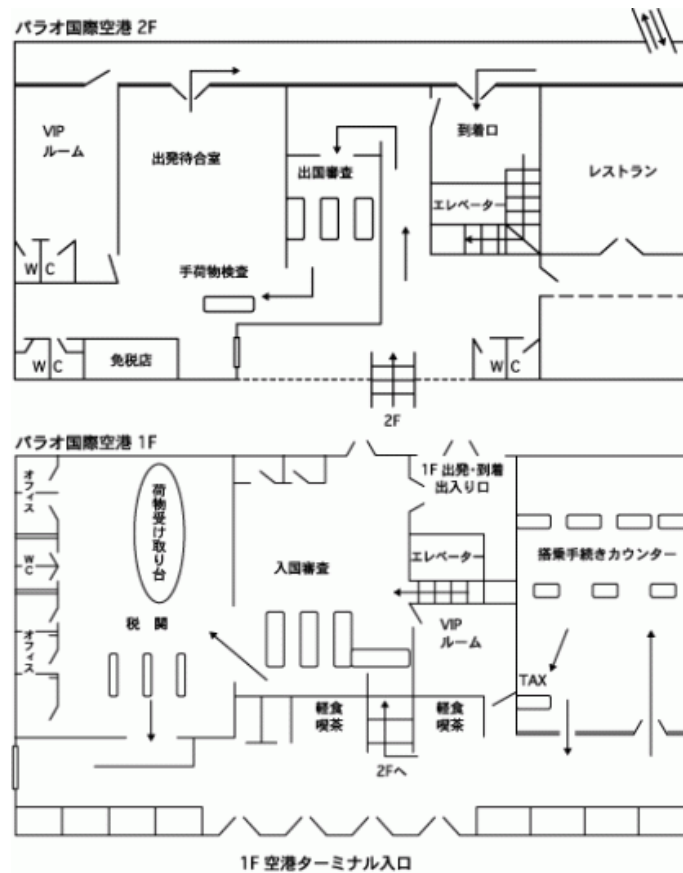
該当情報なし。

(4) 通勤事情

公共の交通機関がないので、自家用車での通勤が主。したがって、朝、昼、夕の通勤時間帯には交通渋滞が起こる。

11. 出入国手続き

11-1 入国



(1) 空港施設概要

パラオ空港の略図は、上図のとおりである。

(2) 入国手続き書類

入国カードと税関申告書が飛行機内で配られるので、必要事項を記入して提出する。

(3) 入国審査

通常は一般的な質問を簡単に受けるだけである。

(4) 税関検査

カバンの中身は丹念に調べられる。特にダンボール荷物は開けられる。

(5) 空港内での留意点

盗難などの被害はあまりないが、注意は必要である。空港内は禁煙である。

(6) 出迎え

出口は1箇所なので、特に待ち合わせ場所を決める必要はない。

(7) 空港からの主な交通手段

空港には到着客を待つタクシーはない。小さいホテルに宿泊する場合は送迎サービスがないことが多いので、事前に関係者に連絡をとり、迎えに来てもらうのが最善の方法である。出迎えがない時は、ツアー会社やホテルの送迎バスに空席がないかどうかを問い合わせる。座席がある場合はコロール市内まで

乗せてくれる。

(8) その他の留意点

入国審査官が少ないので、空港到着後、入国までに時間がかかる。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

入国カードには入国と出国が併記されており、入国時に出国分の半分が戻されるので、パスポートにはさんで大切に保管しておく。2時間前には空港に到着するのが望ましい。

機内持ち込み手荷物については、出国審査終了後、出発待合室に入るところでX線検査が行われる。

(2) リコンファーム

リコンファームは原則不要。



(3) チェックイン

チェックイン手続きは、出発の約3時間前から始まる(市内から空港までの移動に約20分かかるので注意)。

(4) 空港利用税等

20米ドルの出国税および15ドルの環境税をチェックイン後に税関カウンターで支払う。

(5) 出国手続き上の留意点

出国時にカウンターで荷物を預ける場合は、飛行機の経由地であるグアム島で荷物の積み替えがあるので、行き先をはっきりと指定しておかないと、紛失することが多い。ダンボール箱あるいはクーラーボックスは、一人につき一個だけしか許されないので注意が必要である。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

特別な事務手続きは必要ない。

(2) 車の処分

中古車を取り扱っている会社、または個人への売却となる。

(3) 家財道具の処分

引っ越し専門の会社などはないので、個人で処分することになる。

(4) 住宅の明け渡し

通常、明け渡し日の60日前までには家主に通知しなければならない。契約時に保証金を支払った場合は、何も問題がなければ解約時に返してもらえる。

(5) 外貨持ち出し規制

5000米ドルまでは持ち出し可能。銀行にチェックアカウント(小切手口座)を開設している場合は、なるべく早めに閉鎖する旨を知らせなくてはならない。

12. 治安、 緊急時の心得



12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

現在の政治、経済の状況から見て、暴動、クーデターが起きる可能性は特に考えられない。

(2) 対処法

長期滞在者は、在パラオ日本大使館へ在留届けを提出しなければならない。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

パラオでは最近、殺人などの凶悪な犯罪事件も起きている。スリや酔っぱらい、覚醒剤中毒者が徘徊していることもあるので、注意が必要。

(2) 住宅の防犯対策

鍵や窓枠などを厳重にしておくこと。

(3) 市中での防犯対策

公共交通機関がないため、歩いていると親切に車に乗るように声をかけてくる人もいるが、むやみに誘いに乗らないこと。女性は、身体のラインや肌の露出の多い刺激的な服装での歩行は避けるように気をつけたい。また、不要不急の夜の外出を避けるだけでも防犯対策となる。

(4) 注意すべき場所、危険地域

パラオには絶対に危険であるという地域はないが、表通りから横に入った道や裏通りには街灯も暗いので、1人で行動する場合は注意が必要である。また、ディスコクラブや一部のカラオケクラブなどでは、客同士の暴力行為も起きているので、巻き込まれないように注意すること。

(5) 被害時の心得

身の安全を第一に考えて、抵抗などはしない。落ち着いて、犯人などについての情報を可能な限り得ておく。警察には必ず届けること。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

民家の火災がたまにある程度である。地震は少ない。大型の台風はまれにあるくらいだが、1990年11月には大型台風の直撃を受け、大きな被害に見舞われた。最近では2001年6月にも台風による災害に遭っている。

(2) 防災対策

燃えやすい民家の密集した地域には居住しないほうがよい。火の元には細心の注意が必要である。災害に備えて食料と水を常に備蓄しておくことを心がける。

(3) 被災時の心得

該当情報なし。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館:488-6455
- ・警察:911もしくは488-1422
- ・消防、救急:911もしくは488-1411

13. 社交



13-1 風俗習慣

母系社会であるパラオは非常に小さな島であるため、ほとんどの人たちが何らかの姻戚関係にある。日常生活における互いの依存関係は、非常に強い。

パラオでよく見かけるハウスパーティーは、家を建てた時に親戚や友人を招待して祝うものであるが、招待された人たちは祝い金を持っていかなければならない。実は、この祝い金で建築時にかかったすべての費用をまかなうことが、パーティーの主な目的なのである。パーティーの途中でまだ金額が目標に達していないとわかると、さらにその場で足りない分を募ることもある。

13-2 パーティーでの留意点

ダンスを踊る時には、相手の配偶者や恋人の断りなしに誘ってはならない。たとえば、男性が既婚の女性を誘う場合には、その夫の許可を得なければならない。

13-3 来客時の留意点

客を招待する場合は、食事の有無を事前に知らせておいたほうがよい。食事をとるときは、招待客は招く側に失礼にならないような清潔な服装をしてくるからである。パーティーで残った料理は、包んで持って帰ってもらいと喜ばれる。

13-4 訪問時の留意点

家に招待された場合には、許可なしに他の部屋に入ってはいけない。食事の招待を受けた場合は、小ぎれいな服装をして行くことが望ましい。

13-5 禁止されている言動(タブー)

パラオは政治基盤が不安定な状態が続いているため、政治に関する話題には深く首をつっこまないのが賢明である。

13-6 日本人会

パラオ日本人会(電話:488-2600)があるが、常設の事務所は設置されていない。会員数は約140人。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

同窓会名: JICA Alumni Association of the Republic of Palau (JICA AARP)

発足年月日:2004年12月6日

会員数:93名(2007年4月現在)

ホームページ:<http://www.palaujicaalumni.com>

13-8 現地の人々との交流

パラオの年輩者たちは古い日本の教育を受けているため、日本的なマナーを重んじる。また、日本語をきちんと理解する人も少なくないので、島の歴史や事情を考えて、言葉を選んで会話をしたほうがよい。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

コロールには、日本の小学校・中学校教育にあたる8年制の公立エレメンタリースクールが3校あるほか、プロテスタントやカトリック教会が運営している私立のエレメンタリースクールが3校ある。ハイスクールは公立が1校と私立が3校ある。カレッジ(短大)はパラオコミュニティカレッジ1校のみである。

日本人の子弟は私立の現地学校に通っており、英語で教育を受けている。

(2) 日本人学校

日本人学校はないが、2001年に日本人の子弟を対象としたパラオ日本語補習校が設立された。同校は建物を所有していないので、毎週土曜日にMaris Stella Schools(詳細はPart 3イエローページを参照)の教室を借りて、国語、算数を中心に社会や理科などの授業をしている。運営は日本人会が行っている。

子弟の教育については、海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

< 海外子女教育振興財団 >

URL:<http://www.joes.or.jp/>

E-mail:service@joes.or.jp

受付時間:9:30~17:30(月~金、祝日・年末年始を除く)

・東京

住所:〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

電話:03-4330-1349

FAX:03-4330-1355

・関西分室

住所:〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

電話:06-6344-4318

FAX:06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

現地校の新学期は8月から始まる。授業料は、公立の学校は無料、私立のエレメンタリースクールは月額60~70米ドル程度、ハイスクールは年額500米ドル

ほどである。授業は年間180日行われる。パラオにはインターナショナルスクールはなく、ほとんどの日本人子弟は私立校の Seventh Day Adventist Elementary School または Maris Stella School に通っている。

(4) 幼稚園

一般に、新学期は9月から始まり、期間は1年間、授業料は無料である。卒園後、エレメンタリースクールへ入学することになる。

パラオ・コミュニティ・アクション・エージェンシー(アメリカ出資)が運営している

Yellow Page 幼稚園(Head Start)が、パラオ全州にある公立の小学校に併設されている。

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

Yellow Page コロール市内の図書館は、Palau Public Library(パラオ国立図書館)が教育省の敷地内に1館ある。そのほかPCC(パラオ・コミュニティ・カレッジ)の図書館も一般利用が可能であり、児童向けの図書コーナーも設置されている。

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

外国人が使用人を雇用することは、法律で禁止されている。

15-2 運転手

(1) 雇用

該当情報なし。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

該当情報なし。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

該当情報なし。

(2) 雇用

該当情報なし。

(3) 日常管理

該当情報なし。

15-4 庭師、ガードマン

該当情報なし。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

パラオの新聞には、週刊の「TIA BELAU」、週2回発行されている「Palau Horizon」と「ISLAND TIMES」があり、すべて英文紙である。購読は年間契約で、支払い方法は現地通貨(米ドル)で集金の形をとっている。

(2) 日本の日刊紙

パラオでの日本の日刊紙の購買は不可。

(3) 欧米紙 / 誌

国内で雑誌の購入はできないが、PCCの図書館に行けば一般の利用者も雑誌を閲覧することができる。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物を購入できる書店はなく、パラオ在住者はアマゾンなどの海外配送可能な通信販売を利用している。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

パラオには、AMはT8AA局(1584KHz)の1局、FMではEco Paradise局(87.9MHz)、WPKR局(88.9MHz)、WWFM局(89.5MHz)の3局のラジオ放送局があり、パラオ語と英語でニュースや音楽番組が放送されている。なお、Paradise局では日本語の東京FMの番組を一部放送している。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

受信可能である。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間10:00 ~ 19:00)

日本国内から : 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL : http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html

(周波数表、番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAX サービス)

郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

2010年8月からRadio Australiaの中継局(91.5MHz)が開設された。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

地上放送局はない。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

地上波放送局がないため、パラオではケーブルテレビを申し込んでテレビを視聴している。現地には、ケーブルテレビ局が1局あり、設置料20米ドル、受信料月額23米ドル前後で14チャンネルが受信できる。毎日7:00～24:00にNHKの衛星放送が見られる。

< NHKワールド・プレミアム問い合わせ先 >

(株)NHK情報ネットワーク「カスタマーセンター」

所在地 : 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-13

電話 : +81-3-5458-6601

E-mail : premium@nhk-jn.co.jp

< 番組表の入手 >

URL : http://www.nhk-jn.co.jp/wp/ind_day1_a.html

(週間番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号259

(週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

パラオでのテレビ受信方式は日本と同じNTSC方式であるが、日本からテレビ受像器を持参する場合は、ケーブル接続が異なるため、アダプターが必要である。アダプターは現地でも購入できる。ビデオデッキに関しては問題ない。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

ゴルフ場の開発計画はあるが、現在はPapago International Resortホテル (詳細はPart 3イエローページを参照) に設置されている230フィートの練習場が、唯一のゴルフ施設である。

Yellow Page

(2)テニス、フィットネス

テニス施設、プール・フィットネス施設はPalau Pacific Resort内にあり、誰でも利用(有料)することができる。

Yellow Page

(3)その他のスポーツ

在留日本人による野球チームが時々作られ、パラオ人チームとの交流試合やトーナメント試合に参加している。

17-2 趣味

Yellow Page

Old Age Centerでは、彫刻や、ヤシの葉を使ったバスケット、小物入れなどの

編み方教室が開かれている。Tebang Woodcarving Shopでは頼むとStory Board(イタボリ)作りを習うこともできる。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

特に専門の語学学校があるわけではないので、常時学べる環境とはいえないが、PCC(パラオコミュニティカレッジ)の英語コースを受講することが出来る。

(2) 家庭教師

個人ベースの交渉でパラオ語と英語の個人レッスンを受けることができる。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

コロール周辺に居住する人にとっての地方旅行とは、ペリリュー、アンガウル、カヤンゲルなどの離島を訪れることである。これらの島々へは、定期的に船が出ているが、現地には観光客向けの施設はなく、ビーチで1日のんびりと過ごすか、戦遺品を見学するかになる。ペリリュー、アンガウルには宿が1、2軒あるが、カヤンゲルにはないので、個人の家に泊めてもらう必要がある。

18-2 主要観光地・保養地

海外からの観光客はコロールに集中して来るが、島内は1日もあれば見終わってしまうほど狭く、目を見張るような名所旧跡もない。ボートで海に出かけて、魚釣りやダイビングを楽しむことが最大のレジャーである。高級リゾートホテルは、前述のPalau Pacific ResortとPalau Royal Resortがある。

18-3 旅行代理店



旅行代理店はIMPAC TOURS(インパック・ツアーズ)、ROCKISLAND TOUR COMPANY(ロックアイランドツアーカンパニー)など、島内に数軒あり、主に国内のツアーを取り扱っている。日本人の駐在員も多い。詳細はPart3イエローページを参照。

19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



19-1 家財道具

(1) 輸送業者



海送の荷物は、パラオでは信頼度の高いICTSI Logistics Officeに依頼することを勧める(詳細はPart 3イエローページを参照)。

(2) 輸入手続き

陸揚げされた荷物はいったんパラオターミナル港に保管され、港税関で検査を受けたあと、持ち主が手数料と税金を支払って引き取られることになる。パラ

オ政府発行の証明書があれば、税金は免除になる。荷物は、別料金を支払えば港から陸送してもらえる。

(3) 輸入貨物の受け取り港

コロール州のマラカル島にあるコマーシャル港で受け取る。

19-2 自動車

(1) 一般状況

パラオで走っている自動車の9割以上は日本車と見られる。日本の中古車を輸入している会社が多い。

(2) 輸入手続き

パラオターミナルで検査を受けたあと、手数料、税金を支払う。税金免除には、パラオ政府発行の証明書が必要である。パラオには受け取り代行会社はないので、個人で受け取る必要がある。

3) 現地での購入

新車、中古車ともにパラオで購入できる。スーパーの掲示板などで個人的に中古車を売りに出していることもあるが、取引の手間やトラブルを考えると、ディーラーから購入するのが望ましい。

どの中古車も外装はとてもきれいにしているが、一度試乗して、エンジンやブレーキなどの調子をチェックしたほうがよい。大手のディーラーでは分割払いも受け付けているが、普通現金一括払いである。

(4) 自動車登録

個人が警察署で行う。購入証明書を持っていく。自動車の整備状況を簡単に調べられたあと、通行税と所定の手数料を支払うと、ナンバープレートと車検証をもらえる。なお、車検の有効期間は1年間で、毎年更新が必要である。

(5) 免許証取得

日本でふだん使用している免許証と大使館からの免許証の翻訳証明書(発行手数料は20米ドル)、写真を警察署へ持参すると、その日のうちにパラオで使える免許証を発給してくれる。

(6) 保険、税金

保険会社は2社あり、どちらにも加入できる。車の状態によって加入制限や料金に差がある。対人・対物事故に対する保険はどんな自動車にもかけるが、自損保険については製造後5年以内の自動車にしかかけられない。

20. 地方都市

該当情報なし。

Part 3 イエローページ

特に記載のない限り、JICA駐在員 事務所のあるコロールの情報を中心にしています。

1. JICAパラオ支所

所在地	2nd Floor George Ngirarsaol Commercial Building, Koror, Palau, 96940
TEL/FAX	TEL :+680-488-5373/5370 FAX :+680-488-3656
URL/E-mail	URL :http://www.jica.go.jp/palau/index.html Email :pa_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	P.O.Box 6050, Koror, Palau, 96940
TEL/FAX	TEL :488-6455 FAX :488-6458

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL :488-6455
警察	TEL :911, 488-1422
消防、救急	TEL :911, 488-1411

4. ホテル / アパートホテル

< ホテル >

■VIP Guest Hotel

Medalaih, Koror(P.O.Box 18, Koror, Palau)
TEL :488-1502 FAX :488-1429
E-mail :vipghotel@palaunet.com
料金 :65～75 米ドル(+10%税、シングル)

使用できるクレジットカード:VISA, MasterCard, JCB, Dinners Club(手数料3%)、Pacific Ex(手数料なし)、American Express(手数料4.5%)
 長期滞在可能(キッチン付きルームあり。料金は交渉)

■West Plaza Hotels

Meketih, Koror(P.O.Box 280, Koror, Palau)Central Reservation
TEL :488-2133～5 FAX :488-2136
URL :http://www.reefrainfirst.com/micronesiawestplaza.html E-mail :west.plaza@palaunet.com
料金 :70 米ドル(+10%税、シングル)

使用できるクレジットカード :VISA, MasterCard, JCB, Dinners Club, American Express(手数料なし)
 長期滞在可能(料金は交渉)

■Cliffside Hotel

Arkebesang, Koror(P.O.Box 129, Koror, Palau)
TEL :488-4590 FAX :488-4593
URL :http://www.cliffsidehotelpalau.info E-mail :cliffside@palaunet.com
料金 :90 米ドル(+10%税)

使用できるクレジットカード :VISA, JCB, MasterCard, American Express(手数料なし)
 長期滞在可能(キッチン付きルームあり。料金は交渉)

■Palasia Hotel Palau

Ngeronger, Koror(P.O.Box 1256, Koror, Palau)
TEL :488-8888-9 FAX:488-8800
E-mail :res.palasia@palaunet.com
料金 :139 米ドル(+15%税)

使用できるクレジットカード :VISA, JCB, Dinners Club, American Express(手数料なし)

■Palau Pacific Resort

Arkebesang, Koror(P.O.Box 308, Koror, Palau)
TEL :488-2600 FAX:488-1601
URL :http://www.panpacific.com E-mail :reserve.pal@panpacific.com
料金 :195～300 米ドル(+15%税)

使用できるクレジットカード :VISA, MasterCard, JCB, Pacific EX, American Express(手数料なし)

■Palau Royal Resort

Malakal, Koror(P.O.Box 10108, Koror, Palau)
TEL :488-2000 FAX:488-6688
URL :http://www.palau-royal-resort.com E-mail :info@palau-royal-resort.com

5. レストラン / 喫茶店

コロール市内

< マダライ地区 >

< 日本料理・海鮮料理 >

■レストラン・フジ

Madalai, Koror

TEL : 488-2774

E-mail : palau.fuji@palaunet.com

30人前後の会食ができる特別室が用意されている

< 日本料理・寿司 >

■美登寿司

TEL : 488-1950

< 焼肉料理 >

■アリラン レストラン

TEL : 488-2799

< タイ料理 >

■スリヨ タイ

TEL : 488-8440

< T-ドック地区 >

< 日本料理・アジア料理 >

■レッド ルースター カフェ

TEL : 488-5508

< ニアケソアル地区 >

< パラオ料理・沖縄料理・ステーキ >

■ドラゴン亭

TEL : 488-2271

< マラカル地区 >

< パラオ料理・日本料理 >

■カーブ レストラン

TEL : 488-3341

6. 小売店

< ショッピングセンター >

■W.C.T.C. Shopping Center

Main Road-Downtown, Koro

TEL : 488-1484/3315

営業時間 : 月～土 8:00～22:00、日 8:00～21:00

食料品、電化製品、家具、台所用品などを扱う総合ショッピングセンター

< 電化製品・工具店 >

■ACE Hardware

T-Dock, Meketii, Koror

TEL : 488-1551～2 FAX: 488-1783

家電製品や工具類などが購入できる

7. 金融機関

■Bank of Hawaii(Koror Branch)

P.O.Box 340, Koror

TEL : 488-2602 FAX : 488-2427

パラオの銀行の営業時間は銀行によって異なるが、同行は平日は 8:30～15:00、金曜日のみ 8:30～17:00で、土日は休み。ATMが銀行の表にあって常時引き出しができる。

■Bank of Guam (Koror Branch)

P.O.Box 338, Koror

TEL : 488-1648/2696～7 FAX : 488-1384

8. レンタカー会社

■トヨタレンタカー

T-Dock Meketii

TEL : 488-2133 ~ 4、空港内 587-5599 FAX : 488-2136

■バジェットレンタカー

NECO Buildig(First Floor)

TEL : 488-6233 FAX : 488-6232

E-mail : budgetpalau@palaunet.com

■キングスレンタカー

Malakal Office

TEL : 488-2964、空港内 587-3553 FAX : 488-3273

E-mail : kingsent@palaunet.com

9. 電話・携帯電話会社

< 電話会社 >

■Palau National Communications Corporation (PNCC)

Ngerusar Airai

TEL : 587-9000 FAX : 587-1888

URL : <http://www.palaunet.com> E-mail : pnccservice@palaunet.com

< 携帯電話会社 >

■PNCC Wireless

Ngerchemai, Koror

TEL : 488-9174 FAX : 488-9173

E-mail : wireless@palaunet.com

10. インターネット・プロバイダー

■PNCC's PalauNet

Airai、Koror

TEL : Airai: 587-2609, Koror: 488-1424 FAX : Airai: 587-9015, Koror: 488-1725

URL : <http://www.palaunet.com/html/palaunet.html> E-mail : pnccservice@palaunet.com

料金 : 料金構成は 5 段階あり、一番料金が安いクラスは 1 カ月 15 米ドル

11. 郵便局

■Palau Post Office (パラオ郵便局)

Ikelau, Koror

TEL : 488-4755 FAX : 488-5755

12. 国際宅配会社

■DHL

Meketii, Koror (JR Professional Building)

TEL : 488-2754 FAX : 488-1096

営業時間 : 8:30 ~ 16:30

日本までの料金(目安) : 書類 1 ポンド: 43 米ドル、書類 5 ポンド: 81.7 米ドル

■Federal Express

Ngesaol Hamlet, Koror(CTSIL Logistics Office)

TEL : 488-2845/1085/6863/8024 FAX : 488-5828

E-mail : ctsi@palaunet.com

営業時間 : 8:30 ~ 16:30

13. 航空会社

■コンチネンタル航空事務所

VIP Guest Hotel Building (Ground Floor)

TEL : 488-1029/448 FAX : 488-2164

営業時間 : 月 ~ 金 8:00 ~ 16:30(土日休)

14. 教育施設

< 日本語補習校 >

■パラオ日本語補習校(於 Maris Stella Schools)

Topside, Koror

 TEL :488-2436 FAX :488-4602

< 現地校 >

■Seventh Day Adventist Elementary School

Medalaih, Koror

TEL :488-2426 FAX :488-3940

ミッション系私立小学校

■Maris Stella School

Idid, Koror (P.O.Box787 Koror)

TEL :488-2436 FAX :488-4602

ミッション系私立小学校

< 幼稚園 >

■Head Start

TEL :488-1170 FAX :488-1169

E-mail :amteliu@pcaa.org

対象年齢:3歳から5歳

使用言語:英語、パラオ語

保育料その他:無料

< 図書館 >

■Palau Public Library (パラオ国立図書館)

Medalaih, Koror

TEL :488-1465

利用時間 :8:00 ~ 16:00

教育省の一機関として運営されている

■Palau Community College (パラオ・コミュニティ・カレッジ)

Medalaih, Koror (P.O.Box 9, Koror)

TEL :488-2470, 2471 FAX :488-2447

図書館は一般の人でも利用可能です

15. 日本の新聞・雑誌の購読

■海外新聞普及(株)(OCS)

< 日本の問い合わせ先 >

輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL :03-5476-8131 FAX :03-3453-8091

URL :http://www.ocs.co.jp/ E-mail :subs@ocs.co.jp

16. スポーツ施設

< ゴルフ練習場 >

■Papago International Resort 内

Airai, Koror (P.O.Box 8026, Koror, Palau 96940)

TEL :587-6666/6677 FAX :587-6868

料金 :1時間/10米ドル

< テニス、プール、フィットネス施設 >

■Palau Pacific Resort 内

Arakabesan, Koror (P.O.Box 308, Koror, Palau 96940)

TEL :488-2600 FAX :488-1601/1606

URL :http://japan.palau.panpacific.com(日本語) E-mail :palau@panpacific.com

料金 :施設利用含めて1日25米ドル

1000フィートの人工砂浜があり、シュノーケルも楽しめる

17.カルチャー施設

■Old Age Center

Medalaih, Koror(P.O.Box 100, Koror)

TEL :488-2165

ハンディクラフト等のお土産 値段は個人交渉

■Tebang Woodcarving Shop

Ngerchemai, Koror

TEL :488-4252

Story Board(イタボリ)の販売、交渉すればイタボリ作成を習うことができる

18. 旅行代理店

■IMPAC TOURS(インパック・ツアーズ)

Malakal, Koror (P.O.Box 10107, Koror, Palau 96940)

TEL : 488-3779/5079 FAX : 488-5777

URL : <http://www.palau-impac.com> E-mail : impac@palaunet.com

営業時間 : 8:00 ~ 18:00

日本人経営の代理店で、安心して相談ができる

■Rock Island Tour Company (RITC) ロックアイランド ツアー カンパニー

Malakal, Koror (P.O.Box 1595, Koror, Palau 96940)

TEL : 488-1573/5135 FAX : 488-1574

URL : <http://www.palauritc.com> E-mail : palauritc@palaunet.com

営業時間 : 8:00 ~ 18:00

日本人経営の代理店で、安心して相談ができる

19. 輸送会社

■CTSI Logistics Office Warehouse

P.O.Box 1713, Ngesaol Hamlet, Koror, Palau 96940

TEL : 488-2845/1085/6863/8204 FAX : 488-5828

URL : <http://www.ctsi-logistics.com> E-mail : ctsi@palaunet.com

日本通運(株)と提携している
